

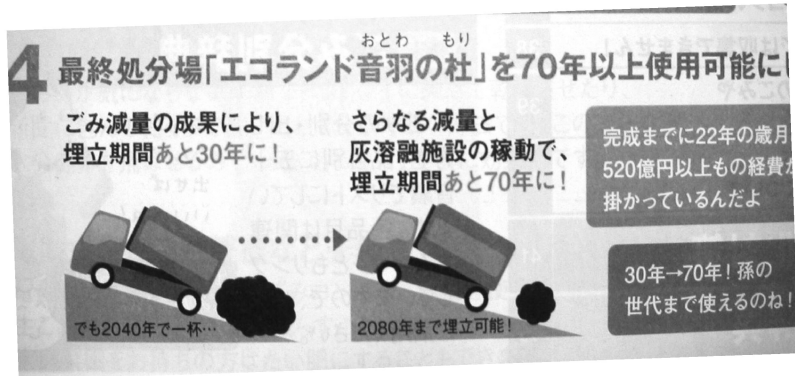
# くらしの目線で市政を変える

こんにちは  
日本共産党

## 市会議員 西野さち子です



# 自然と環境こわす焼却灰溶融炉 本格稼働は中止を!!



7月19日にくらし環境委員会が開かれました。西野さち子市議は各ご家庭に配られた「ごみ減量・分別ハンドブック」について質問しました。「エコランド音羽の杜」について、埋立期間あと30年に!さらなる減量と灰溶融炉の稼働で埋立期間あと70年に!という記述があります。しかし、灰溶融炉なしでも50年は使用できます。

これでは、市民のみなさんは灰溶融炉の稼働で埋立地の使用が40年延びると勘違いされるのではないのでしょうか。それを狙っての京都市の意図的な世論誘導策を感じました。財政不足と

いいながら、年間16億円を超える経費が必要で、年間2万7千トンものCO2を出す施設が本当に今、必要でしょうか。いま、試運転中です。9月初旬には本格稼働の予定です。本格稼働は中止すべきです!!

### 市民をまどむく京都市の世論誘導は許せない!

## 原発防災対策の検討と具体化を求める申し入れ



京都市に対し、速やかな対応を申し入れる京都市議団(左から2人目が西野市議)

日本共産党京都市会議員団は京都市に、前回の申し入れからさらに具体的な対策を求める第二次の申し入れをし、西野さち子市議も参加しました。

福島第一原発の事故は、発生から4か月以上経つのに、さらなる深刻な放射能汚染を拡大しています。その中で、独自のモニタリング体制の確立と情報公開。防災井戸の所在地の周知。

## 不透明な議長辞任劇

高速増殖炉「もんじゅ」の廃炉。30年を超えた老朽原発、住民合意の得られない原発は停止・廃炉にすること。スピーディを活用した速やかな情報提供等を申し入れました。

一身上の理由で、京都市会議長が辞任届を提出しました。8月2日の臨時議会で認められると、戦後最短の任期となります。辞任の理由に不明朗

な点が多く、政治資金規正法や議員の口利き禁止を定めた条例に抵触する疑問も出されています。議長及び自民党会派は辞任に当たって、議会にも市民にも説明責任を果たすべきです。議会は、京都市会議員倫理条例の規定に基づき、議員倫理審査会を設置し、徹底した疑惑の解明を行うべきです。

## 「笠井さんの話しに納得しました」

### 「原発からの撤退を」-講演会に1000人

7月18日に九州電力のやらせメールの追及で活躍の、日本共産党笠井亮衆議院議員の講演がシルクホールで行われました。会場からあふれる参加者で、準備された800の資料があっという間になくなる盛況ぶり。

原発の危険性から、「原発利益共同体」による原発推進の問題など分かりやすい講演でした。西野市議も地域のみなさんと参加しました。笠井さんの「大企業は原発がなくなれば電気が足らなくなるから、海外へ出ていくと脅すが、国民の安全を最優先に企業の責任を果たすべきだ」との話には納得!でした。

